

(財)女性のためのアジア平和国民基金

第89回理事会

平成18年11月

第89回 理事会議事録

1. 開催日時

2006年11月6日(月) 18:00-21:00 スクワール麹町

2. 定足数

理事現在総数は11名のうち、出席理事は7名、委任状出席理事が4名で、定足数は満たしている旨報告があった。

[出席理事] 村山富市理事長、石原信雄副理事長、有馬眞喜子理事、
植本真砂子理事、大沼保昭理事、宮崎勇理事、
和田春樹専務理事

[委任状出席理事] 大鷹副理事長、古賀伸明理事、衛藤藩吉理事、
金平輝子理事

[欠席理事] 大鷹副理事長

[運営審議会] 高崎宗司委員長

[監事] 入山健之助監事

[オブザーバー] 外務省アジア大洋州局地域政策課相川一俊課長、丸尾伸一事務官、
篠川志保事務官

[事務局] 峯岸良夫総務部長、岡 檀業務部長、原田信一事務局員
佐藤榮子事務局員、渡邊千尋事務局員、間伸智子事務局員、
高江洲晴子事務局員

3. 理事会

議事署名人の選出

議長に一任となり、議長より有馬理事および宮崎理事が指名された。

(1) 事務局報告 インドネシア事業報告

和田専務理事より、10月3日から7日までの出張報告がなされた。

(2) 議題

議題 1' 解散発表およびいわゆる感謝の会について

2月14日(水)に決定した。招待者及び名称についてはおって検討する。

議題 2 残余金の処理について

別紙の通り「医療福祉支援事業への拠出金の残余金の取り扱いについて」報告がなされた。議題3との関連からアフターケア問題の説明後一括審議することになった。

議題 3 アフターケア問題

アフターケアのNPOを立ち上げてもらうよう依頼してきたが、それが完全に行き詰まってしまったことが報告された。

残余金の処理については、報告を了承し、今年度内に実施できる医療福祉支援事業の具体案を事務局で作成することが認められた。

議題 4 韓国問題について

別紙の資料に基づいて担当者から報告がなされた。討論の結果、担当者らによる再調査を12月までにまとめてもらい、それを基にしてどう対処するかを理事会で決めることとなった。

11月27日(月)および12月18日(月)理事会開催が決定された。

日本の戦後責任をハッキリさせる会代表白杵敬子氏の基金への協力に対して感謝を表すため理事会に招くことが認められた

議事録が正確なものであることを証するため、下記に署名押印する。

平成18年11月6日

議長 (理事長)

杜山富太郎

議事録署名人 (理事)

有馬真喜子

同

(理事)

宮崎勇彦